

令和3年度 二宮町青少年問題協議会 議事録

日 時：令和3年7月9日（月）14時より

場 所：二宮町町民センター 3Cクラブ室

出席者：(委員) 村田邦子会長、森英夫副会長、梁井幸次委員、井上太郎委員、松本大輔代理、
中西美保委員、和田智司委員、塚越幸雄委員、脇俊二委員
(事務局) 黒石教育部長、釧持生涯学習課長、加藤生涯学習・スポーツ班長、
有賀生涯学習・スポーツ班主事

傍聴者：1名

【資料】

- ・会議次第
- ・二宮町青少年問題協議会設置条例
- ・資料1 令和3年度二宮町青少年健全育成事業の取組みについて
- ・夏休みの生活について
- ・夏休みを有意義に過ごそう
- ・夏季休業中の心得
- ・全国民生委員児童委員連合会ちらし
- ・二宮町民生委員児童委員について

1 開 会

2 委嘱状の交付

3 会長あいさつ

4 自己紹介

5 議題

(1) 令和3年度 二宮町青少年健全育成事業の取組みについて

※事務局より資料1に基づいて説明。

(委 員) 昔は違反広告の除去なども行っていたが、今はまったくない。小学生への声掛けが主な活動で、最近は落書きの見回りもした。

(委 員) 青少年指導員は17名となっているが、欠員している地区もあるのか。

(事務局) ある。

(2) 青少年非行の現状について

※松本大輔代理（大磯警察署生活安全課職員）より、大磯警察署管内で起きている非行の状況について情報提供。

【要点】

- 補導件数は前年と同程度、多いのはたばこ所持、深夜徘徊である。
- 検挙数も県下でも毎年右肩下がりではあるが、前年と同程度。
- SNSの被害としては、twitterやFace bookなどで連絡を取り合ううちに、自撮り画像を送付して拡散されてしまったなどの被害が報告されている。子ども達は危険性を認識していないため、保護者と子ども達との温度差が激しい。子ども達の年代に合わせて話（授業）もできるので、ニーズがあれば声をかけてほしい。
- 薬物について、昔は覚せい剤が多かったが、今は大麻所持が多い。SNSを通して簡単に入手できる。また、特殊詐欺もいまだに多い。振り込め詐欺と知らずに加害者となったな、認識していないケースもあり、困っている。
- 青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）に伴い、子ども達への声かけを行っている。

（3）情報交換

（会 長） 夏休み中の生活指導などについて情報提供をお願いしたい。

【要点】

中西美保委員（二宮町立二宮小学校）

- 新型コロナウイルスの感染予防に気を付けながら、夏休みにしかできないことを体験してほしい。
- 自転車の乗り方で地域の皆様に迷惑をかけていることがある。学校としても広がって走らない、飛び出さないなど注意をしていく。
- 最近、不審者の目撃情報が多い。地域の方にも一緒に見守りをしていただきたい。
- 水の事故を防ぐために、夏休み前に水難事故防止の授業をする。

和田智司委員（二宮町立二宮西中学校）

- 夏休みの生活という予定表を作成し、各自目標を立てている。自分で立てた目標を少しでも実行に移せるように指導している。
- 二宮小の話にもあったが、不審者が多くなってきている。日頃、担任からも注意喚起を行っているが、夏休み前にも注意を呼びかけたい。
- 資料は三者面談の際に、保護者に説明しながら直接手渡しをする。

塚越幸雄委員（神奈川県立二宮高等学校）

- 例年とは大きく変わらないが、新型コロナウイルスの項目を加筆した。新しい生活様式のもと、充実した日々を過ごしてほしい。
- バイク登校は禁止している。バイクは大きな事故につながりかねないので、しっかりと注意喚起を行っていく。
- 昨年度は夏期講習はオンラインで行ったが、今年は対面で実施する。
- 部活動はマスク着用など制限がある中で、熱中症にも気をつけながら一生懸命行っている。生徒は熱中すると、水分・塩分補給をおろそかにしてしまうため、十分注意するよう呼びかけている。
- 深夜外出や薬物などについては、絶対に手を出さないように指導している。SNSに関しては、日頃から携帯電話教室などで注意喚起を行っているが、繰り返し行うことで指導を強化していく。

梁井幸次委員（二宮町地区長連絡協議会）

- 地域の防犯のため、防犯パトロールを月4回行っているが、百合が丘は少子高齢化が進んでいて、子どもたちに出会うことが少ない。
- 家庭教育が非行などの芽を摘むもとだと思う。

井上太郎委員（二宮町民生委員児童委員協議会）

- 自分たちの活動を理解してもらうために、各民生委員がチラシ2枚を全戸配布した。
- 主任児童委員が町内に3名おり、子どもに特化して活動しているが、それだけではいけないと、民生委員が児童委員を兼ねて「ゆりかごから墓場まで」活動するようになった。

脇俊二委員（二宮町青少年環境浄化推進委員会）

- 過去にはいかがわしい看板や掲示物など軽トラックがいっぱいになるほどあったが、今はほとんどなく、先輩たちの努力があって今がある。
- 今は、いかがわしい本やビデオもデジタル化されており、名前通りの活動ができていない。
- 環境浄化という言葉にとらわれずに、子どもたちを見守っていきたい。

森英夫委員（二宮町教育委員会教育長）

- 近隣で大麻所持などの補導など状況を教えてほしい。
- (委員) 大磯警察署管内でも近隣でも検挙したことはある。SNSで連絡を取り合って受け渡しを行うが、近隣での受け渡しはなく、横浜などが多い。青少年から卒業した20～22歳くらいが多い。
- まん延防止措置の関係で、県から新しい指示がくると思う。新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、また、大麻使用などの温床となることを防ぐため、大勢で友達の家に行くことや、大勢の友達を自宅に呼ぶことを控えるなど呼びかけてほしい。

6 閉会 15時15分